



条幅随意(臨書)
師範正 宮本 虹鶴
喪乱帖を細部まで捉え、
線の強弱、文字の大小、
余白の疎密まで表現し、
形臨に徹し、双鉤填墨に
命を与えた作品である。
日頃の研鑽に敬服する。
この調子で「成家」を目
指そう。

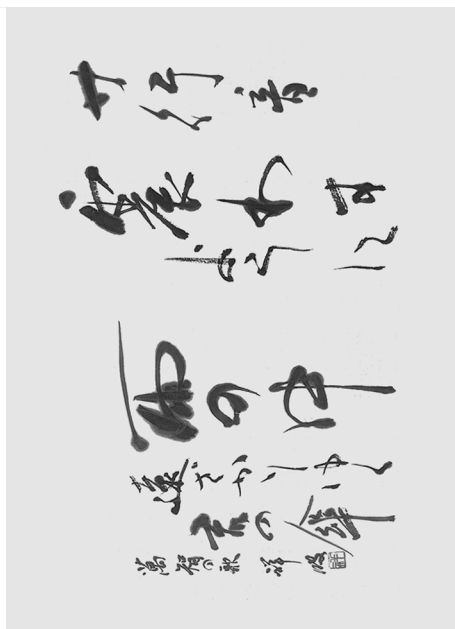
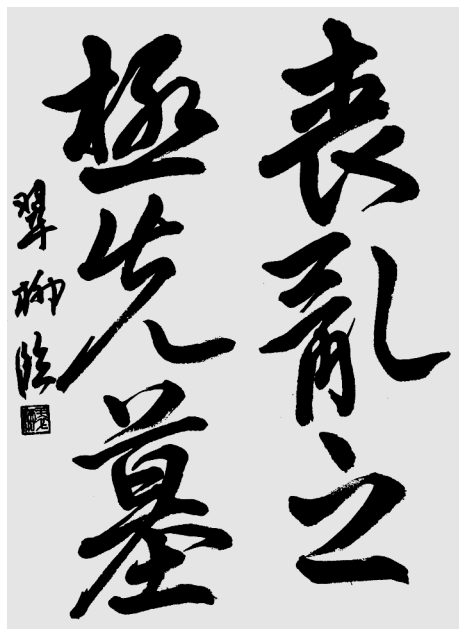
条幅随意
準師範 鎌田 敏子
やゝ粗さが目につきま
す。大きな動きから醸し
出される躍動した強靱な
線に魅力を感じますが大
字と小字の調和が今一歩
です。リズムの遅速、心
の静と動が今後の課題で
しょう。

条幅規定
成家 白水 春鷺
迷いのない筆遣いで、
リズム良く、六朝楷書の
力強さと余白の美しさが
ほどよい緊張感を与え、
静寂の中に生命感を感じ
る作である。古典に裏付
けられた確かな用筆に賛
同する。

半折 1/2 横

六 段 樋田佳代子

表現力豊かな作品で、まるで絵画を観ているような作品である。あまりにも抽象化すぎて賛否両論あるかもしれませんが、自己の書を確立する過程においては必要なのかもしれない。



半紙規定

師範正 白石 青桃

筆の弾力を活かし、確かな用筆で、運筆に迷いが無く線が明るく伸びやかである。余白も氣いて自然体のところが良い。精進を。

半紙随意

師範 豊嶋 祥波

細線とやわらかな墨色が、や、もすると賑やかになりそうな文字群を包み、行間の疎密と余白の美しさが情趣に富んだ作となった。

半紙随意(臨書)

師範 重富 翠柳

真面目に正面から取り組み臨書された作品です。運筆も安定し、重厚感のある線に魅力を感じます。軽快なリズムも加味してみよう。



学生部条幅 (1/4)

中三 特待生 竹下 彩乃
線に伸びやかさがあり、全体にまとまりがあります。行書の特徴をよくとらえた明るい作品です。『継続は力なり』ですね。

ふじ井とうま
小一 7級
ちからのこもったせんで、おもしろい。『ほん』がかけています。おしゅうじのたのしさが伝わってきます。

中村 りこ

桐山 藍

原 千尋

小二 準3級
むずかしいかだいでしたが、『ハネ』『ハライ』『トメ』のちがいに気をつけてしっかりと書いています。これからがんばってね。

小三 準1級
お手本をよくみて名前までとてもいいねに、形よく書いています。『段』まであと一歩です。これからの千尋さんに期待！

五反 咲羽

田中 陽菜

長尾 百花

小四 準三段
日ごろの熱心な練習の成果ですね。本文・名前ともにどううと書いています。さらに上を目指して一枚でも多く練習しましょう。

小五 準五段
お手本をよく見て、とてもいいねに書いています。これから、思い切りのよい『線』を引くことを意識してがんばろう。

白井 結衣

内田 英里

西村 朋華

小六 六段
本文・名前ともに完成度の高い大人顔負けの作品です。『特待生』を目指してこれからも頑張ってください。期待しています。

中二・三 特待生
行書の流れを自分のものにして、伸びやかな線で動きと明るさのある作品です。『特待生』ですね。今後は一般部への挑戦をおすすめします。

六年 白井 結衣

四年 五反 咲羽

りこ

中三 竹下 彩乃

内田 英里

陽菜

藍

西村 朋華

五年 長尾 百花

千尋

とうま

硬筆部最優秀作品

(10月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

手を つないで、
「天まで」ととけ
一、二、三、と
ジャンプしました。
仲 りん花

お父さんは、白いたすき
をかたからななめにか
け、日の丸のはたにおく
られて、列車に乗った。
清田 美羽

局地的な天気の変化も予想
がむずかしいものです。日本は、
四方を海に囲まれていて、さま
ざまな風がふきます。また、地
形の変化に富んでいます。
小野 優莉

一般的には家を出るときに玄関で
靴を履くが、ぼくの場合には靴の代
わりに車いすに乗る。なんの違いも
ない。「障害者」を生み出しているの
は、紛れもなく環境の不備なのだ。

かえるくんは、
大いそぎで 家へ
帰りました。紙に
何か書きました。
二年 河内たまき

ある秋のこと、二三日雨が
ふり続いたその間、ごんは
外へも出られなくてあな
の中へしゃがんでいた。
高嶋 彩未

「田んぼが、詩に書かれた田んぼの
ように、かがやいて見えましたよ。
と、昔の教え子たちが言う。苦しい
農作業の中に、楽しさを見つける。
工夫することに喜びを見つける。
待鳥 美風汐

きぬた打つ音が、星雲に響く。昔はそれ
が深まる秋を告げる音であった。か
し金、騒音が季節の音を奪って行っ
た。騒音はまた同時に、季節の音に耐
える私たちの感性も奪いつつある。

お父さんは、白いたすき
をかたからななめにか
け、日の丸のはたにおく
られて、列車に乗った。
榊田 桜嘉

ある秋のこと、二三日雨が
ふり続いたその間、ごんは
外へも出られなくてあな
の中へしゃがんでいた。
牟田 倫佳

一般的には家を出るときに、玄関で
靴を履くが、ぼくの場合には靴の代
わりに車いすに乗る。なんの違いも
ない。「障害者」を生み出しているの
は、紛れもなく環境の不備なのだ。
岡田 沙也

日増しに秋が深まり、もうすぐ夏は遠い
ちづるの袖を揺る音が、かすかに
聞こえてくる。暑く、蒸気が立ち上
り、たがふ。これは、温かい、鍋物な
ど、出番が増えそう。

書 譜

仲 鈴花

小一 準5級

おてほんをよく
見て、なまえま
でしつかりとか
けましたね。か
んじもカタカナ
もかたちよく、
ていねいにつけ
た作品です。

河内 珠希

小二 準3級

力のこもったせ
いでいつしう
けんめいにお手
本を見て書いた
ようすが作品に
あらわれていま
す。よくがんば
りましたね。

榊田 桜嘉

小三 準初段

むずかしい名前
まで気をぬかず、
お手本をよくか
んさつして書い
ています。日ご
ろの練習のせい
かだと思えます。
期待しています。

清田 美羽

小三 2級

ペンをしようず
に使用して、明
くすつきりとし
た線で伸びやか
に書いています。
これからが楽し
みです。さらに
がんばって！

高嶋 彩未

小四 五段

本文から名前ま
で集中して、完
成度の高い作品
が書いています。
ペンの使い方も
じょうずです。
今後の彩未さん
に期待します。

牟田 倫佳

小四 3級

書き始めは鉛筆
の先がとがりす
ぎのためか線が
細かったのです
が、三行目以降
は温か味があり
とても好感がも
てます。期待大。

小野 優莉

小五 準五段

漢字と平仮名の
バランスがよく
お手本の観察力
もあり、明るい
作品です。さら
に上の段を目指
してこれからも
がんばって！

待鳥 美風汐

小六 準六段

明るくすつきり
とした線で、字
形も良く整った
完成度の高い作
品です。特待
生。を目指して
頑張ってください。
期待しています。

岡田 沙也

中学 六段

本文から名前ま
で集中力をきら
さずに、お手本
をよく観察して
書いています。次
は「ペン」にも挑
戦してさらに頑
張ってください。

川崎 美優

中学 準六段

漢字と平仮名の
バランスが良く
字形もよく整っ
ています。線に
も勢いがあり、
これからの美優
さんの成長が楽
しみです。

樋口 祥子

一般 師範正

お手本の観察力
に頭が下がります。
線にも抑揚
があり、明るさが
際立っています。
今後は自己のリ
ズムも取り入れ
てみて下さい。

井口 美代子

一般 師範

お手本をよく観
察され、力のこも
った線で、安定感
のある作品です。
今後は抑揚の変
化を意識される
と思えます。